

2

空きびんの回収を担うびん商

びん商の歴史

1.8ℓびんの循環の要となっているのはびん商です。

びん商のルーツは、江戸時代から酒樽、醤油樽の回収を行っていた「樽屋」といわれます。酒屋などから空き容器を回収する業態が明治以降のガラスびん登場によって、今日のびん商の業態につながってきました。明治時代に輸入のビールびんなどを集める業者があらわれ、ガラスびんの国内製造が始まると新たなビジネスとして成長してきました。

特に戦後はガラスびんが不足していたため、びんはきわめて高価で取引されました。高度経済成長の時代はまだガラスびんが主流で、新びんの生産が追いつかず、空きびんの需要に対して回収が追いつかない状況がありました。そのため酒の卸や小売業者がびんの回収部門を立ち上げたり、びん商に転じる人も少なくなかったといえます。

COLUMN

戦後の物資不足の中で、空きびんは非常に高価で取引されていました。昭和24年頃、1.8ℓびん1本の価格は80円、2リットルびんは40円もしたそうです。（戸部昇「リターナブルびんの話」）

びん商の仕事

びん商は日本全国に立地し、大半が「全国びん商連合会」の23地域団体に加盟しています。（平成30年3月現在417社）

びん商には酒販店等からの回収業、回収したびんを洗浄する洗びん業があり、回収から洗びんまで行う業者もあります。近年はガラスびんの減少にともなって、空き缶やペットボトルを取り扱う業者もあり、新びんを取り扱う業者など、業態は多様化しています。



びん商のヤード

[全びん連地区別会員数 平成30年3月現在]

北海道	22	埼玉	4	静岡	11	大阪	43
東北	42	千葉	5	中部	22	兵庫	19
群馬	7	東京	107	北陸	7	中四国	23
栃木	5	神奈川	28	和歌山	5	九州	45
茨城	4	山梨	4	京都	10	個人	4

・全国びん商連合会の連絡先：E-mail：info@zenbin.ne.jp TEL 03-3551-5238